普及活動情勢報告（令和７年８月分）

中央西農業振興センター　高知農業改良普及所

イチゴの生産安定に向けて　～適正肥培管理のための育苗期の窒素濃度確認調査～

窒素濃度測定の様子

７月 28 日からＪＡ高知市介良・五台山支所苺部を対象に、育苗株の窒素濃度確認調査を実施し、調査結果を基に肥培管理指導を行っています。

生産者からは「花芽分化促進と芽無し株の発生防止のための、適正な肥培管理の参考になる」との声がありました。

普及所は今後もＪＡと連携し、産地の生産力向上に取り組んでいきます。

令和７園芸年度を振り返って　～春野胡瓜部会　反省会～

調査結果を報告

８月５日、ＪＡ高知県春野営農経済センターでＪＡ高知県春野胡瓜部会の反省会が開催され、63 名（生産者 40 名、関係機関 23 名）が参加しました。

普及所からは、初期生育向上の取り組みとして、根の乾燥重量の調査結果や、畝に埋めたカメラで根の伸長を動画撮影した様子を説明しました。

生産者からは「根の乾燥重量と日射量との関係を知りたい」といった意見が出されるなど、次作に向けた活発な意見交換ができました。

今後も普及所はＪＡと連携し、ＪＡ高知県春野胡瓜部会の生産力向上に向けた活動を支援していきます。

ナシ産地の 10 年後、20 年後を見据えて　　～法人化勉強会の開催～

法人化について説明

８月６日、高知市針木集会所で、針木梨組合を対象に法人化の勉強会を開催し、生産者６名が出席しました。

当日は、（一社）高知県農業会議を講師に招き、農業経営を法人化するメリットやデメリットなど、大きく４つのステップについて説明していただき、普及所からは果樹で集落営農法人を設立した県外の事例を紹介しました。

参加者からは「温暖化や高齢化で産地が疲弊してきている。早期に法人化を検討し、営農が継続できる状況にしていきたい」との意見が出されました。

普及所は、梨組合や関係機関とともに、ナシ産地の再生に向けて取り組んでいきます。

試験品種の適性は？　～水稲の刈り取り調査の実施～	
 刈り取り作業の様子	８月 14 日、普及所は高知市高須地区において、水稲の奨励品種決定調査ほで試験品種の‘高育 86 号’と対照品種の‘とよめき’のを刈り取り調査を行いました。 高温やカメムシ等による稲への影響が心配されましたが、今作は病害虫の被害も少なく生育しました。今後はこれまで行った生育調査及び収量・品質調査の結果をとりまとめ、研修会等で報告する予定です。 普及所は、今後も産地に適応した品種の選定と普及推進に取り組んでいきます。